



やるきほんききさき

木佐木

神奈川県議会議員
日本共産党

2026.7.1
木佐木ただまさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021
Profile
▶1984年(41歳)山口県出身
▶鶴見区馬場在住
▶神奈川大学法学部卒
▶よこはま健康友の会会長
▶横浜東民商顧問

ほんとに必要？約 1,700 万円の海外派遣に反対！



6月26日本会議。唯一討論に立ちました。

6月26日の県議会において、会派を代表して「議会友好代表団のマレーシア・ペナン州への派遣案(議員派遣案第33号)」に対する反対討論を行いました。
この議案に反対したのは、私たち共産党だけでした。

交流の意義は認めつつ、 使い道は厳格に精査

地域社会のグローバル化が進む中、神奈川県が諸外国と紡いできた友好交流の歴史や役割は重要だと考えています。
しかし、多額の税金を使って議員が海外へ渡航する以上、その「目的」と「必要性」は厳密に精査されなければなりません。相手国から周年行事に招待されたり、相互の交流促進など合理的な理由がある場合は、私たちも賛成の立場をとります。
実際、昨年派遣されたドイツのバーデン＝ヴュルテンベルク州については、近年も先方の交通大臣や委員会委員長が来県するなど緊密な交流が続いており、合理的な理由が認められたため賛成いたしました

今回の派遣は明確なビジョンがない

一方で、今回のマレーシア・ペナン州への派遣案は、これまでと同様の考え方で検討した結果、賛成することはできません。
神奈川県とペナン州は1991年に共同声明に調印して交流が始まりましたが、先方から友好代表団が来県されたのは2001年が最後となっています。本県からは5年ごとに議長や副議長が訪問しており、直近では2023年に副議長が訪問したばかりです。
今回は特別な記念事業に招かれたわけでもなく、今後どのように友好交流を進めていくかという明確なビジョンもないまま訪問団を組んでおり、派遣の意義が到底見いだせません。



多額の税金投入は 県民の理解を得られない！

このペナン州への派遣にかかる予算は、概算で1,600万円から1,700万円にもものぼると聞いています。(議員8人、職員3人) 県政に諸課題が山積する中、優先性や合理性が高いとは言えません。さらに、円安や物価高が進行して県民生活が厳しさを増している現在、このような多額の税金を投入することに対して、県民の皆様を理解を得ることは極めて困難です。
毎年どこかに行くという慣例的は派遣はもうやめるべきではないでしょうか？

YOUTUBEでも紹介しています⇒

